



坂町道徳作文 コンクール 特選作品

いつてかえり

坂中学校1年

黒瀬 小春

私が住んでいる地域は、子どもの人数があまり多くありません。また、地域に住んでいる人が少ないわけではないのですが、出歩いている人はあまりいません。だから、朝学校へ行く時に、出会う人は限られていて、もうだいたい覚えていて、す。その人たちは、いつも「おはようございます。」と言ってくださいます。私が小学生のとき、登校中にいつも出会っていたあるおじいさんがいました。「いつてかえり。」

その人は、毎日「いつてかえり。」と私に言います。私は、もともと知らない人に「いつてかえり。」と言うことにとっても抵抗がありました。だから、いつもペこつとおじいぎをするだけでした。ある日、たまたま下校中に、そのおじいさんに会いました。「おかえり。」

そのおじいさんは、微笑みながらあいさつしてくれました。けれども、私はおじいぎするだけで、顔も合わせられませんでした。次の日だっと思いましたが、道徳の授業がありました。この頃の私は、道徳の授業が苦手でした。なぜなら、道徳の物語を聞いても自分のことのように考えられなかったからです。「こうすればいいんじゃない。」という考えしかもてなかったのです。その日の道徳の授業も、とても長く感じていました。小学校を卒業し、中学生になると、家を出る時間が小学校の時よりも早くなり、その

のおじいさんやいつも会っていた人たちにも会わなくなりしました。「なんか寂しいなあ。」ふとした瞬間に感じました。私は、自分が思っていた以上に、地域の人が身近な存在になっていた。中学校の道徳で、「あいさつ」の物語について考えました。小学校3年生の小さな男の子が、主人公に自然とあいさつするところから始まる物語でした。その物語を聞き始めて、最初にあのおじいさんのことが心に浮かびました。「いつてかえり。」

と会うたびに掛けてくれた言葉。私は今でも思い返します。（私は、物語に出てきた3年生の男の子のように当たり前にあいさつができていたのだろうか。全然できていなかった。むしろ失礼なことをしていたのじゃないか。）と考えました。「あいさつ」は、「いつてかえり。」だけではありません。それです。ただではあります。「おはようございます。」「こんにちは。」などたくさんあります。また、「あいさつ」は、全くと



私の「普通」 あなたの「普通」

坂中学校2年

福永 和夏

「トランスジェンダー」という言葉を知っているだろうか。トランスジェンダーとは、当事者の身体的な性別と、自認している性別が異なる人々のことであり、セクシャルマイノリティの総称であるLGBTQ+にも含まれる。私がトランスジェンダーのことを詳しく知ったのは、令和4年1月のことだ。偶然見つけたテレビで「性別違和のある子どもたち」という特集があった。その特集では、性別違和を感じている人の交流会に参加している子どもたちとその保護者の生活についてインタビューが行っていた。私は、その交流会に参加している子どもたちの年齢に驚いた。そこには大学生や高校生だけでなく、小学生や5歳ほどの小さな子どもも参加していたのだ。

LGBTQ+とは

性の多様性において数が少ない人である「性的マイノリティ」の総称のひとつ。

L (Lesbian レズビアン) …女性同性愛者（女性が好きな女性）。

G (Gay ゲイ) …男性同性愛者（男性が好きな男性）。

B (Bisexual バイセクシュアル) …男性も女性も好きになる人、または好きになるのに性別を問わない人。

T (Transgender トランスジェンダー) …生まれた時に割り当てられた性別と性自認が異なっている人。性自認が男性、女性に二分できないXジェンダーも含む。

Q (Questioning クエスチョニング) …自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」など。

(Queer クィア) …性的マイノリティを包括する言葉。元々は「変わった、奇妙な」という意味で同性愛者を侮蔑する言葉だったものが、当事者が前向きな意味で使い始めた経緯がある。

+ (プラス) …最後に「+」がついているのは、性はとても多様であり、上記以外にもたくさんの性のあり方があることから、包括的な意味を持たせるため。

にこう答えていた。「いじめる人はまた出てくるかもしれない。トランスジェンダーのことが理解できない人もいるから。」私はこれを聞いてとても悲しくなった。5歳や6歳で自分の身体を傷つけ、「死んでしまいたい」と思うほど悩み、心に大きな傷を負ったのに理解できない人もいるからと諦めなければならないのだろうか。このように、「普通ではない」という理由で差別や嫌がらせを受け、命を絶つまで追い詰められている人がいる事を私は知った。

私はこのような状況を知り、思ったことがある。それは「普通」とは何かということだ。国語辞典には、普通とは「世間にさらにあり、何ら変わったことがないこと」と載っていた。しかし、私はこれだけが「普通」の形ではないと思う。例えば、私たちの暮らし日本と外国とでは生活する上で当たり前に行うこと、すなわち「普通」は異なるだろう。また、同じ日本でも時代や地域が違えば「普通」は異なる。このように、普通は一つではないと私は思う。そしてこの考えは、LGBTQ+だけに限らず、人と関わる上で大切にしてい

